

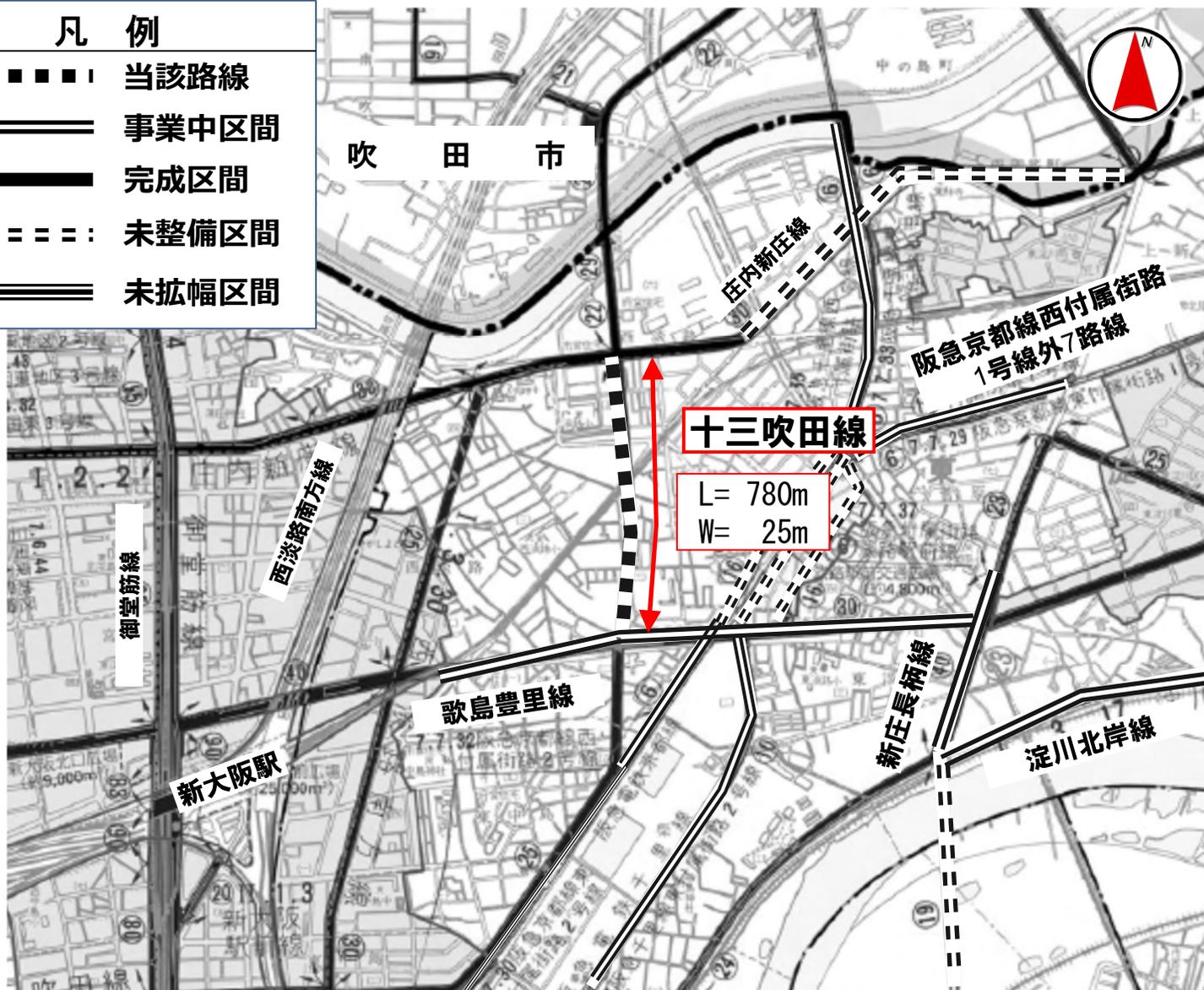
# 図1 位置図

(2 事業概要①所在地)

東淀川区淡路2丁目～東淀川区西淡路5丁目

対象事業 位置図

凡 例	
■■■■■■	当該路線
====	事業中区间
————	完成区间
=====	未整備区间
=====	未拡幅区间



## 図2 費用便益分析の概要

( 3 事業の必要性の視点 ③費用便益分析)

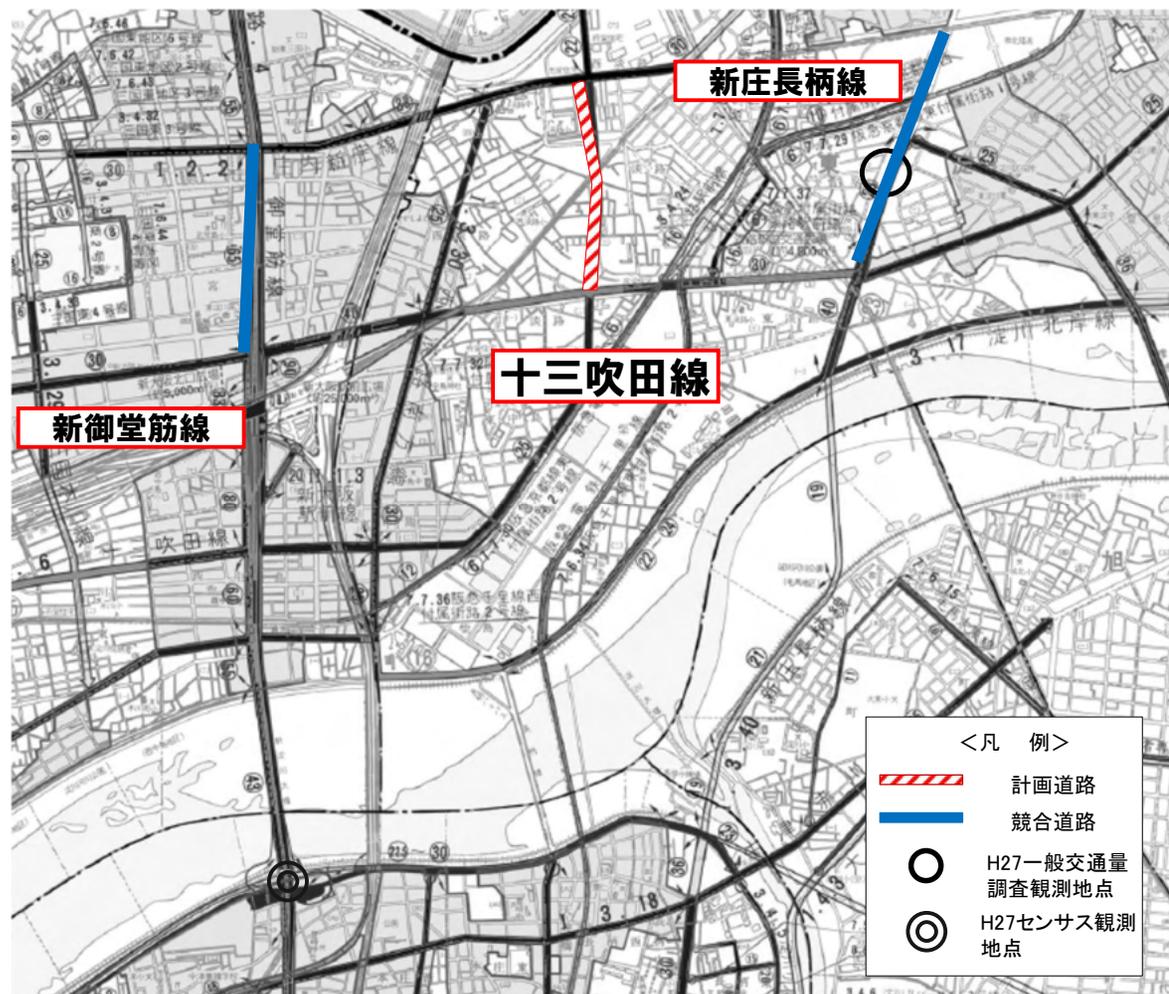
便益 (単位：億円)

走行時間短縮	7.7
走行経費減少	0.3
交通事故減少	-0.1
歩行の安全性 ・快適性の向上	1.3
合計 (初年便益)	9.3
便益総額の 現在価値	136.8

費用 (単位：億円)

事業費 (単純合計)	68.5
維持管理費 (単純合計)	1.2
投資総額の 現在価値	74.5

社会費用便益比 (B/C)	1.84
------------------	------



図一十三吹田線

注) 小数第二位を四捨五入しているため、合計値が合致しない場合がある。

# 図3 進捗状況

## (4 事業の実現見通しの視点 ②事業規模)



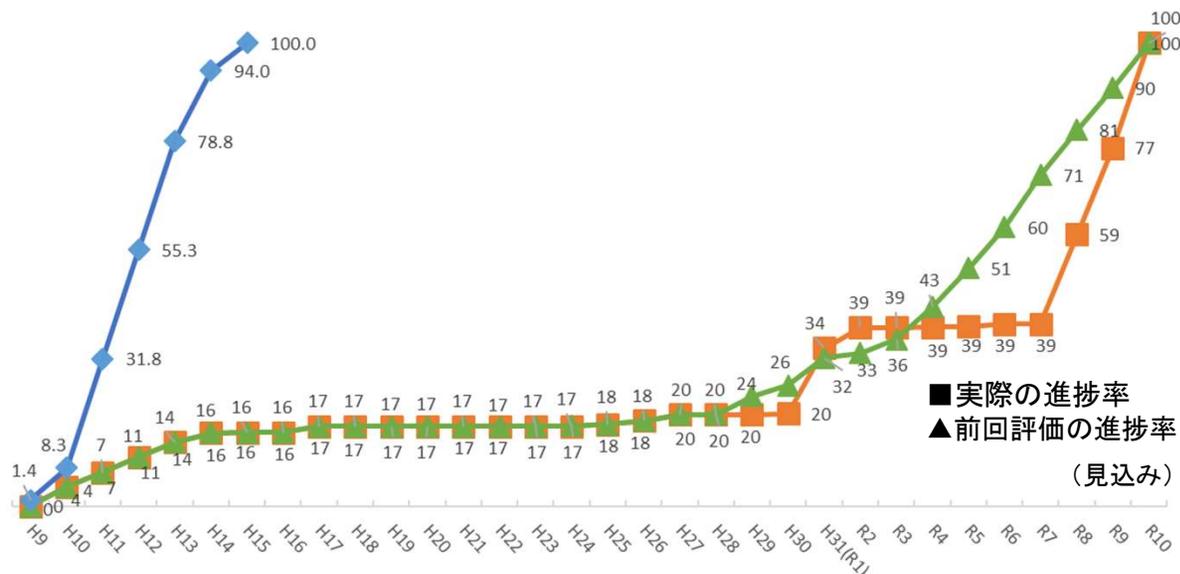
凡 例	
	用地取得済箇所
	整備済箇所
	残用地取得物件
	施工中箇所

用地取得率: 74%(面積ベース)  
 工事進捗率: 0%(面積ベース)

事業費ベース進捗率: 39%

進捗率の推移(単位:%)

事業採択時の  
想定進捗率



残事業の内容

- ・用地取得26件(3,033㎡)
- ・道路工事(延長780m、面積19,500㎡)
- ・残事業費約42億円

今後のスケジュール(見込み)

- ・令和10年度 事業完了予定

事業が遅延した原因とその状況

・財政状況が非常に厳しいため、事業中路線においては、選択と集中の観点から、重点的に投資を行う路線を選定し、事業を進めている。本路線は、重点的に投資を行う路線に位置付けておらず限定的な事業実施にとどめざるを得ないため、当初計画に比べ進捗が遅れ、事業が長期化している。

対応と解消の目途及びその根拠

・限られた予算の範囲では本路線への重点的な予算配分は難しいが、今後、優先的に進める他の路線の収束に合わせて、引き続き予算確保に努め、事業進捗を図る。